

# 外国語活動



外国語活動では、言語や文化についてどのように指導するのか。

3-1-(3) 第2の内容のうち、主として言語や文化に関する2の内容の指導については、主としてコミュニケーションに関する1の内容との関連を図るようにすること。

その際、言語や文化については体験的な理解を図ることとし、指導内容が必要以上に細部にわたったり、形式的になったりしないようにすること。

- 外国語を用いたコミュニケーションを通して、児童が日本語と外国語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くようにする。

(例) 外来語を扱った活動



- ① 日本語と外国語との音声の違いに気付かせる活動
- ② 漢字やアルファベットを扱った活動
- ③ さまざまな地域で話される英語を扱った活動



- ① 言葉の表し方の違いを知る。
- ② 言葉の多様性を知る。
- ③ 言葉の面白さや豊かさに気付く。

- 言語や文化についての知識を単に与えるのではなく、言語や文化を題材にして、児童が実際に外国語を聞いたり話したりするなどコミュニケーションを体験することを通して、言語や文化について理解させるようにする。

(例1) 世界の食事を扱った活動



国や地域によって食事の習慣が違うことに気付かせる。

(例2) ジェスチャーを扱った活動



同じ意味を表すにも国や地域によってさまざまな方法があることを知る。

★「必要以上に細部にわたったり，形式的になったりしないようにすること」とは。



- 単語を複数形にしたり，冠詞を付けたりするなどを強調したり，知識として理解させる必要はない。
- 機械的に単語や語句，文を暗記させたりすることがないようにする。